

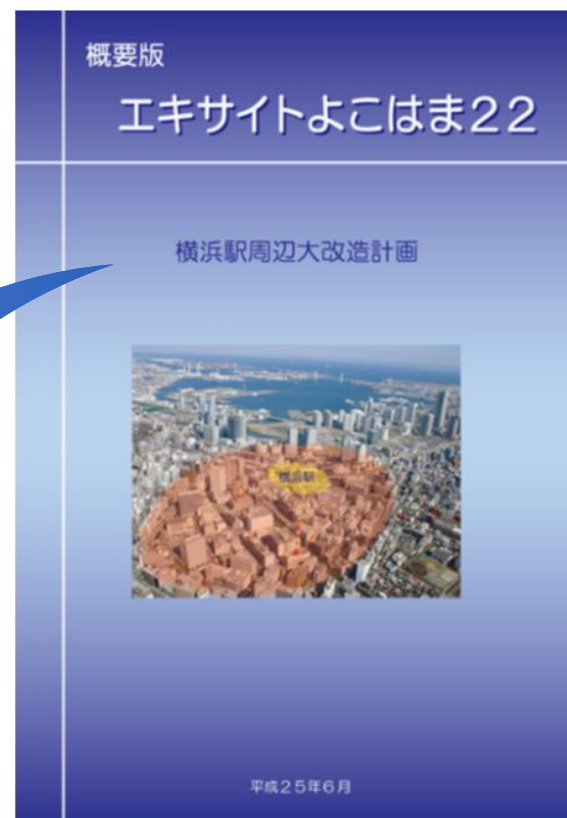
横浜駅周辺をより強くする浸水対策 ～エキサイトよこはま龍宮橋雨水幹線の整備について～

令和5年11月19日
説明会資料
横浜市環境創造局

1.1 エキサイトよこはま22計画

下水事業の位置付け

Ⅱ 施設整備の基本方針
7 治水



7 治水

目的

- ◇ 横浜駅周辺にふさわしい治水安全度の確保

現状の課題・動向

- ◇ 地下街の発達、高度利用された駅直近部等の地区特性から、浸水した場合の被害が甚大となる恐れ
- ◇ 一方、帷子川分水路の整備などの浸水対策を着実に実施してきたところ
- ◇ 昨今の局地的豪雨への対応
- ◇ 周辺開発による更なる高度集積
- ◇ 地球温暖化による海面上昇の可能性
- ◇ 桁下高さが不足する橋梁が多数存在（内海橋、京急線橋梁等）

施設整備の基本方針

- ◇ 河川、下水道、まちづくりが連携した浸水対策を実施
 - ・洪水時に河川から溢水することのないよう、河川の治水安全度を向上
 - 50年に1回程度の降雨（82mm/hr（※））に対応する整備
（帷子川の将来目標は、100年に1回程度の降雨（93mm/hr（※））に対応する計画）
 - ・地下街を有したセンターゾーンにおける内水の安全度向上（浸水に対するまちの安全度向上）
 - 30年に1回程度の降雨（74mm/hr（※））に対応する整備
（将来目標は、50年に1回程度の降雨（82mm/hr（※））に対応する計画）
 - ・その他、地域の取組みにより、水害に負けないまちづくりを目指す（※）横浜気象台における60分の確率雨量
- ◇ 将来の地球温暖化に備え、長期的・広域的に対策の検討を推進

1.2 横浜駅周辺の浸水被害（平成16年の台風22号）

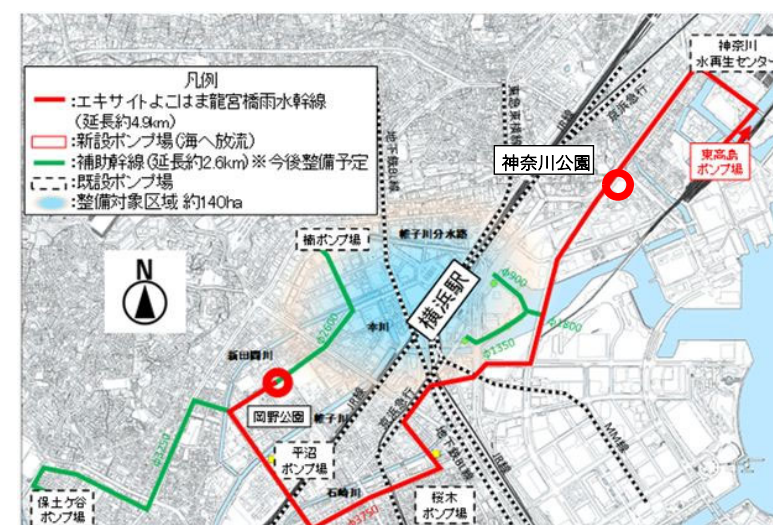


平常時の横浜駅西口



横浜駅西口
平成16年(2004年)10月
台風22号による浸水状況

1.3 横浜駅周辺の浸水対策（概要図）



平面図(下水道計画)

【工事内容】

雨水幹線 内径:3,750mm
延長:約4.9km

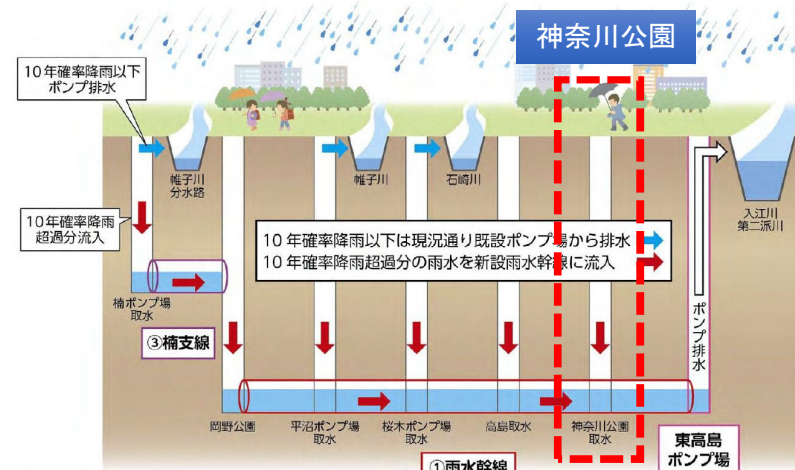
特殊人孔 4基
※うち1基を、神奈川公園内に築造します。

【工事期間】

令和5年12月～令和13年3月
(約8年間の工事)

【配置計画】

地下埋設物(地下鉄、みなとみらい大橋の基礎、共同溝など)への影響を避けるため、地下約60mに雨水幹線を整備します。
横浜駅周辺の雨水は、地下の雨水幹線を通して東高島ポンプ場まで流下させ、ポンプアップして海域へ放流します。



幹線の断面イメージ

1.4 今回工事の目的

目的① 横浜駅周辺の浸水対策

◆整備水準の向上

現在 1時間当たり約60mmの降雨（約10年に1回降る雨）

整備後 1時間当たり約74mmの降雨（約30年に1回降る雨）

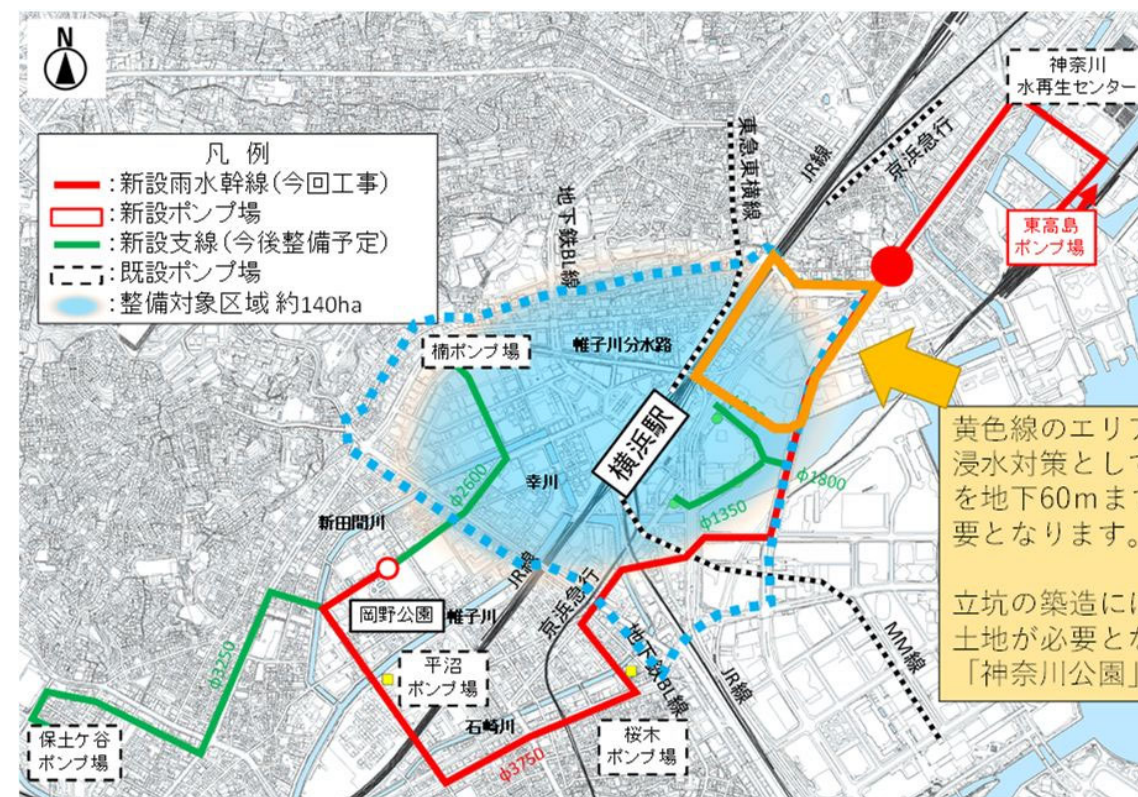
目的② 老朽化したポンプ場の再構築

古いポンプ場は、**50年以上**も運転し続けています。今後も駅周辺の雨水等を排水し続けていくためには、再構築が必要となります。

今回整備する雨水幹線は、**ポンプ場を再構築**するときに**一時的にポンプ場の排水機能を代替**することを目的の一つとしています。

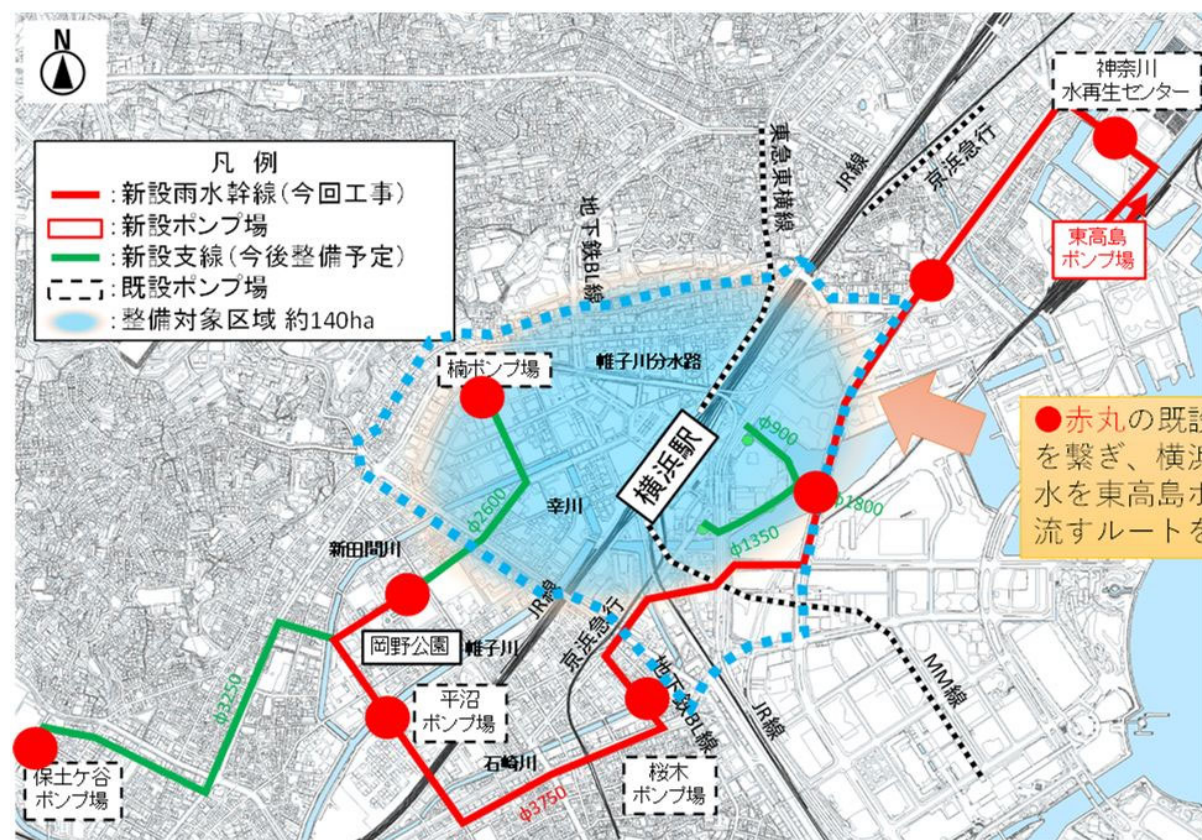
➡ 本事業については、平成29年度第1回横浜市公共事業評価委員会において、市民意見募集等の結果も踏まえ、妥当という審議結果をいただきました。

1.6 神奈川公園で工事を行う理由（②立坑をつくる理由）

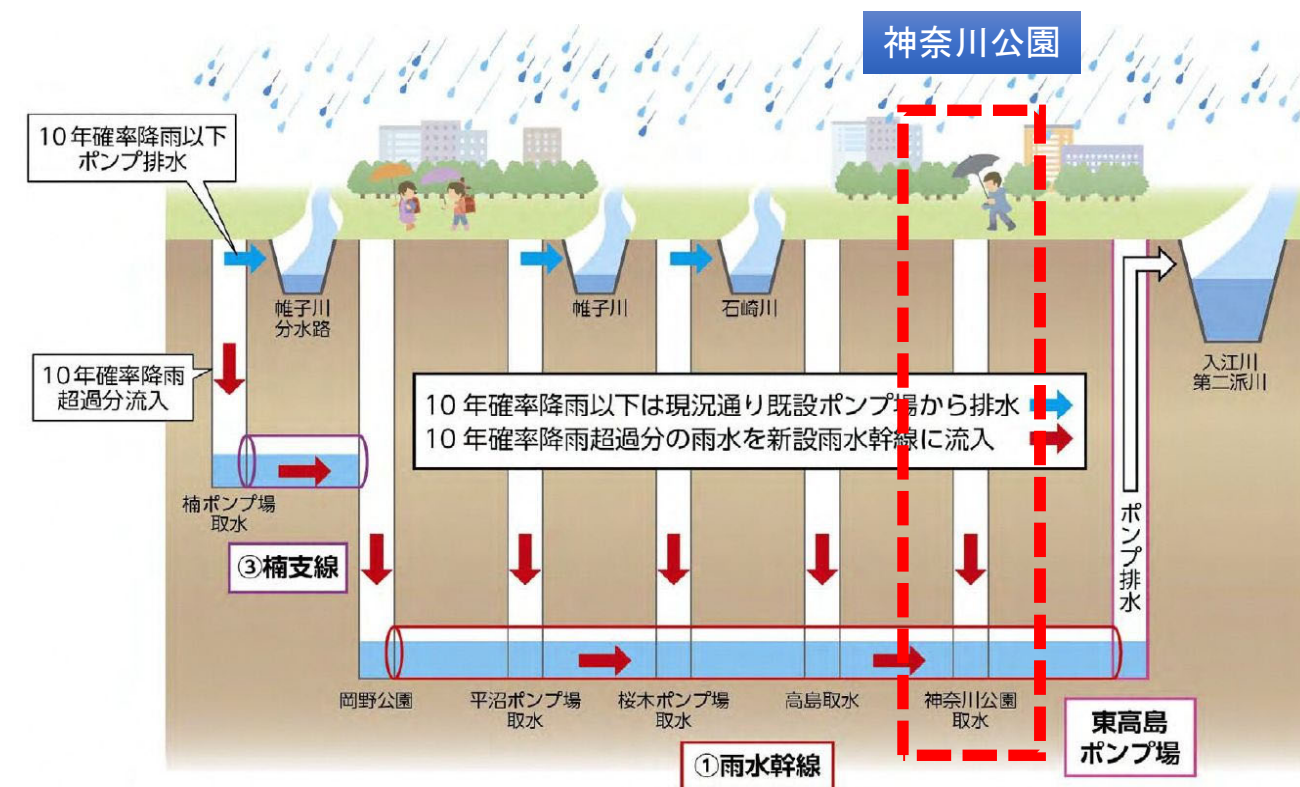


平面図(下水道計画)

1.5 神奈川公園で工事を行う理由（①雨水幹線のルート）



平面図(下水道計画)



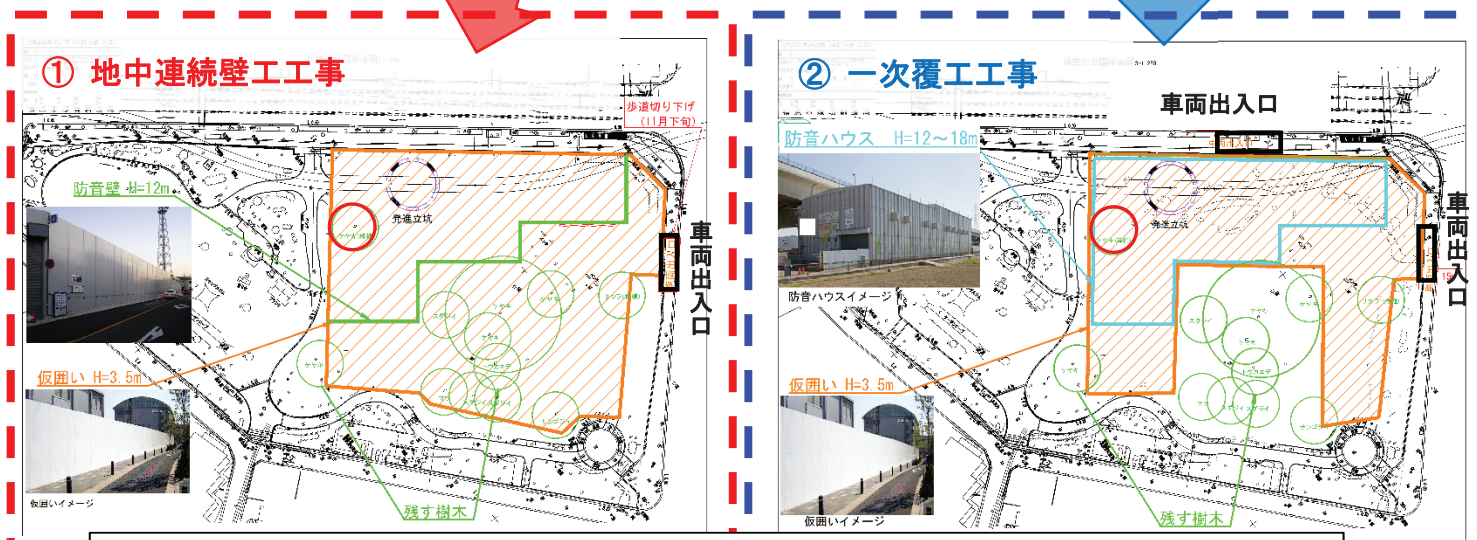
幹線の断面イメージ

神奈川公園で行う下水道工事について

横浜駅周辺の浸水被害軽減を目的として、令和5年12月4日より神奈川公園で工事を開始します。工事の概要は以下のとおりです。神奈川公園の概ね半分を施工ヤードとして利用しますので、神奈川公園の約半分が約8年間利用できなくなります。突然のお知らせで恐れ入りますが、ご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

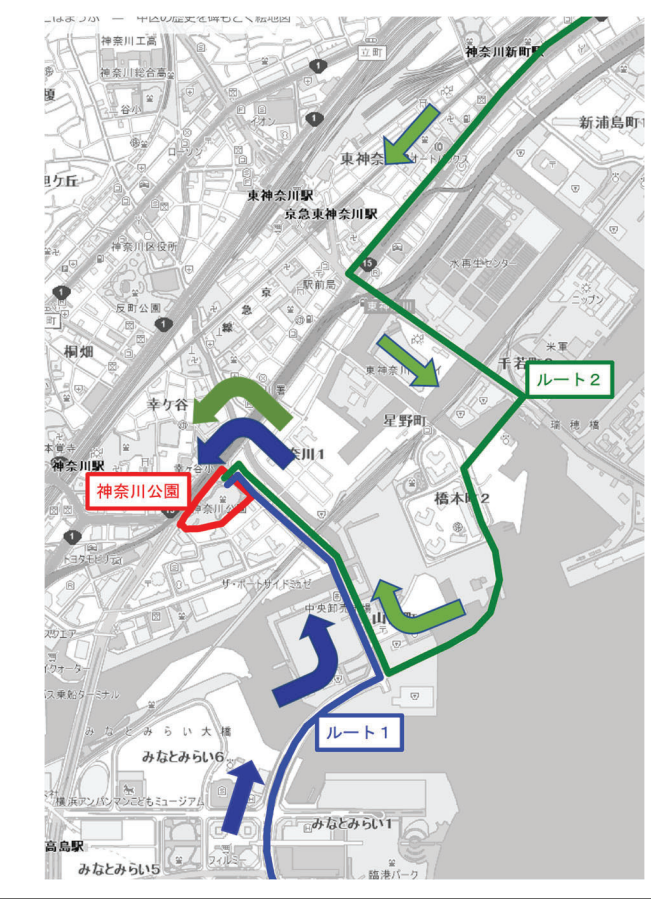
- 1 工事名 神奈川処理区エキサイトよこはま龍宮橋雨水幹線下水道整備工事(その4)
- 2 工事場所 (工事全体) 西区岡野2-9-1から神奈川区星野町5まで
※神奈川公園を施工ヤードとして利用します。
- 3 工事期間 令和5年12月4日 ~ 令和13年3月31日(予定)
- 4 監督者 横浜市環境創造局下水道管路部下水道事務所(北部担当)
連絡先: 045-337-3010(月~金、8:45~17:15)
担当: 谷口丞、池谷岳史
- 5 施工者 大成・大豊・中鉢建設共同企業体
連絡先: 045-450-2227
担当: 原信行、安藤秀幸、清水将人

| | 令和5年 | | 令和6年 | | | | | 令和 | | | | | |
|-------------|------|----|------|----|----|--------|----|----|----|-----|-----|-----|-----|
| | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月~12月 | 7年 | 8年 | 9年 | 10年 | 11年 | 12年 | 13年 |
| 仮囲い設置 | ■ | | | | | | | | | | | | |
| 樹木移植・再利用 | | ■ | | | | | | | | | | | |
| 整地 | | | ■ | | | | | | | | | | |
| 防音壁設置 | | | ■ | | | | | | | | | | |
| 地中連続壁 | | | ■ | | | | | | | | | | |
| 一次覆工(シールド工) | | | | | | | ■ | | | | | | |
| 公園の復旧 | | | | | | | | | | | | ■ | |

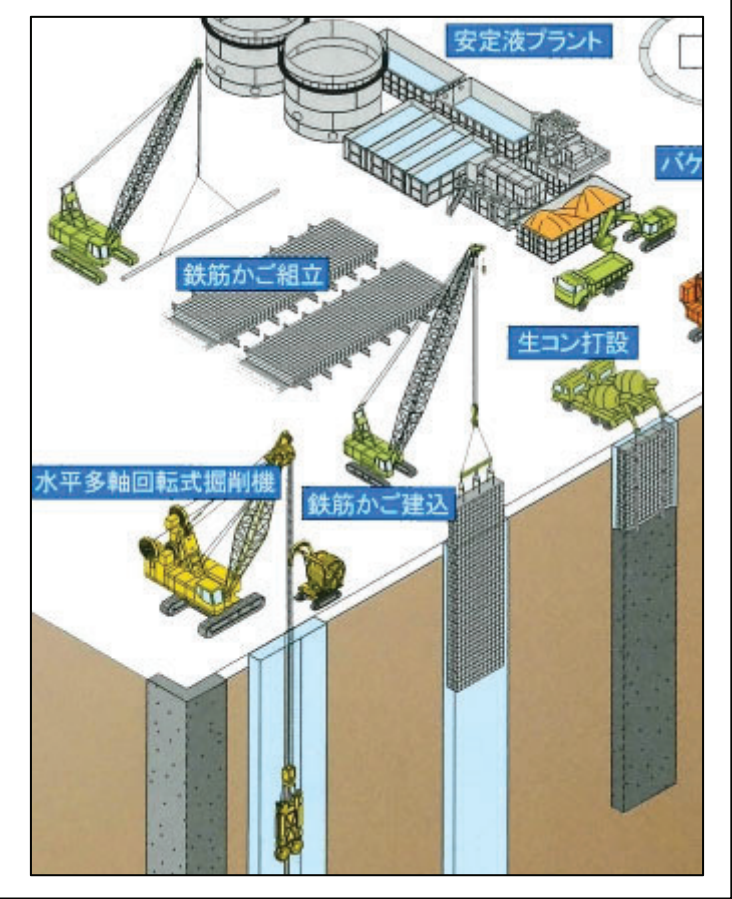


※オレンジで囲われた範囲の中の樹木のうち、緑○は残す木、赤○は公園内に移植する木です。さらに、その他の木については、移植する木、伐採して再利用する木の2つの方法を検討します。

【工事車両通行ルート】

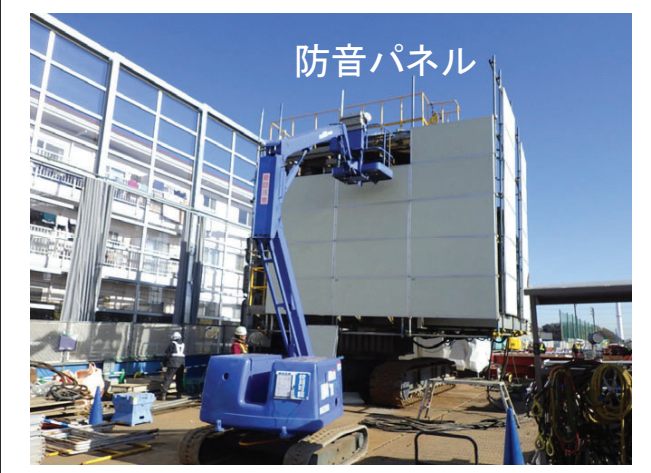


【地中連続壁工の概要】



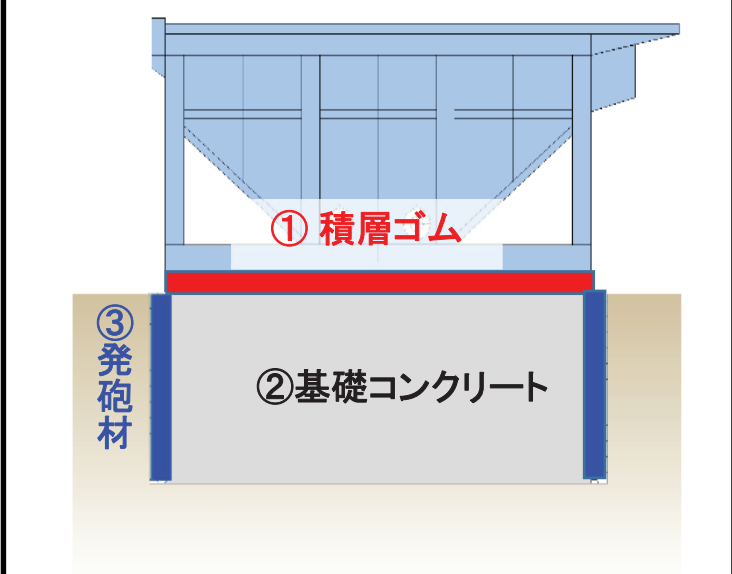
【防音対策】

仮囲いに防音効果のある材料を採用する他、防音ハウスを設置します。加えて騒音の主要因となる機械の周りを防音パネルで囲います。



【振動対策】

振動を発生する機械に数々の対策を施し振動を吸収・低減します。



※神奈川公園の復旧は原型復旧としています。公園の復旧にあたっては、公園管理者である土木事務所と協議します